

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
情報セキュリティ (教職関連科目 必 高等学校 情報)	～218	3・4年生・後期	2単位	必修	車 炳圀	
履修の前提条件	インターネットの最新技術の動向をセキュリティの観点から調べること。					
授業概要 (Course Outline)						
情報漏えいに関する事例紹介を通して情報通信技術に潜む危険について認識した上で、情報セキュリティの基本概念、セキュリティリスク及びその対策などについて調べる。情報セキュリティに関する最新技術、関連法規及び個人や企業の情報セキュリティに対する取組み動向について調べる。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理力 Self-management					○
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
生涯学習力 Lifelong Learning						
到達目標 (Objectives)						
情報セキュリティに関する事例や基礎知識の習得を通して、情報化社会における情報セキュリティの理解及びその全体像を把握するとともに、SPREAD情報セキュリティサポーター能力検定、情報セキュリティ管理士、ITパスポート、基本情報技術者試験のセキュリティ分野の出題問題に対応できる知識レベルに達することを目標とする。						
事前学習の内容	授業計画を参考に教科書を精読し、新しく出た用語の意味を把握しておくこと。					
事後学習の内容	授業で出た用語の整理及びその意味をさらに詳しく調べる。また、情報処理推進機構のHPにあるセキュリティ関連資料(http://www.ipa.go.jp/security/index.html)を読むこと。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
情報セキュリティに関する最新のトレンドをつかむため、2人から4人のグループで必修用語や最近の出来事等をWeb上で調べ(5回以上)、ポートフォリオに記入すること。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
連絡方法: 学籍番号、氏名、受講科目、内容等をメール(宛先: cha@kiis.ac.jp)で送ってください。対面相談の場合はなるべくオフィスアワーの時間を利用してください。 オフィスアワー: 水曜日2、3時限、木曜日3時限 研究室: 656号室						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
外部試験: 次の試験の内一つ以上を受験すること。試験結果を成績評価の対象とする。(SPREAD情報セキュリティサポーター能力検定、情報セキュリティ管理士、ITパスポート、基本情報技術者) 学習の確認: 情報セキュリティ関連用語のテスト及びポートフォリオ[科目別履修確認チェック表]を第12回目の授業時間に提出すること。 学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	情報セキュリティの基本概念		
第2回	セキュリティリスクの実例紹介		
第3回	危険の認識と対策		
第4回	情報資産、リスク、インシデント		
第5回	外部のリスク要因		
第6回	内部のリスク要因		
第7回	見えない脅威とその対策(共通の対策)		
第8回	個人への攻撃の種類及びその対策		
第9回	スマートフォン、無線LANに潜む脅威とその対策		
第10回	企業のセキュリティ対策		
第11回	セキュリティ技術(アカウント、ID、パスワード)		
第12回	セキュリティ技術(ポートと脆弱性)		
第13回	セキュリティ技術(ファイアウォール、暗号)		
第14回	情報セキュリティ関連法規及び制度(国際標準、電子署名法、個人情報保護法)		
第15回	情報セキュリティ関連法規及び制度(著作権法、迷惑メール関連法)		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
情報セキュリティ読本(四訂版)	情報処理推進機構	実業出版	978-4-407-33076-2
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
情報セキュリティの基本と仕組み	相戸浩志	秀和システム	978-4798025582
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
定期試験(30%)、Webテスト(20%)、Web学習(30%)その他(20%、ポートフォリオ、外部試験の結果)			